



舟木 花 (ふなき はな)

1998年生まれ 奈良県在住

2017年よりたんぽぽの家で活動をはじめ

自由な発想と豊かな感性で、様々な素材を使いながら不思議な「アイテム」を作り出していく。ひたすらにシールとテープを張り合わせた箱、絵の具のボトルを何本も使って塗りたくったタペストリー、自身の名前を記し続けた画用紙、、、。アイテムができるとそれを身に纏ったり、中をくぐって遊んだりもする。自身の閃きに身を委ねることを楽しむその姿は、人が持つ根源的な創造する喜びを感じさせる。

(写真：衣笠名津美)

略歴

グループ展

- 2017年 「第32回国民文化祭・なら2017／第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会 " 県下一品！アートな、福祉。 "」（奈良／奈良県文化会館展示室）
- 2019年 「OPEN KIT-CHEN」
（京都／ギャラリー崇仁、奈良／たんぽぽの家アートセンターHANAギャラリー）
「であう、つたえるをかながえる 障害のある人のアートを楽しむために」（京都／京都アートホテル クマガスク）
- 2022年 「エイブルアート展 -アートの奥行き-」（岐阜／可児市創造文化センター）

◆その他

- 2017年 第32回国民文化祭・なら2017／第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会「ビッグ幡in東大寺」にて東大寺に掲げられる幡のデザインに使用

その他

- 2019年 京都市立芸術大学とのプロジェクト「OPEN KIT-CHEN」にて学生やアーティストと1年間の共同制作を行う。会期中にはギャラリートークを開催。